

水島あやめ

国民の涙腺を絞った
日本映画初の女性脚本家

2021/4/6(火)～7/11(日)

開館時間 / 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日 / 月曜日(5/3は開館)、5/6(木)

入館料 / 一般500円、学生〔高校生以上〕300円、
中学生以下無料

※20名以上の団体は各料金から2割引き

主催 / にいがた文化の記憶館、新潟県、

公益財団法人
新潟県文化振興財団、新潟日报社

共催 / 新潟日報美術振興財団、BSN新潟放送、
NIT新潟総合テレビ

後援 / 南魚沼市教育委員会

協力企業 / 田村紙商事株式会社

展示協力 / 因幡純雄氏、高野恵美子氏

無声映画提供協力 / 株式会社マツダ映画社

少女小説でも 人気を博した 水島あやめ

映画『空の彼方へ』(1928年公開) 蒲田撮影所での記念写真 前列右から 結城一朗(出演)、水島あやめ(脚本)、高尾光子(出演)、高岡丈夫(監督)、後列右から川田芳子(主演)、吉屋信子(原作)、ひらひらおとて柳なほ子(出演)



映画産業が生まれたころ、松竹蒲田撮影所で日本初の女性脚本家が活躍しました。南魚沼市出身の水島あやめ(1903～90年)です。水島が書いた脚本は松竹初の女優・川田芳子(新潟市出身、1895～1970年)らの主演により映画化されました。

水島が脚本家として活躍したのは無声映画の時代でした。映画が無声からトーキーに切り替わるころ、水島はかつて憧れた少女小説作家に転進します。

少女雑誌の世界では、スター作家の吉屋信子(新潟市出身、1896～1973年)や人気抒情画家・落谷虹児(新発田市出身、1898～1979年)らと出会い、第一線の少女小説家として多くの少女たちに夢を与えました。

本展では、水島あやめの没後30年の節目に、関連資料とともに水島あやめを紹介します。



水島あやめ訳 落谷虹児画 『小公女』(『少女倶楽部 11月号』付録) 1936年 大日本雄弁会講談社 個人蔵



スピリ作 水島あやめ訳 『アルプスの山の少女』1947年 文化書院 個人蔵

関連イベント その1

無声映画『明け行く空』活動写真弁士・音楽付き上映と 講演「日本初の女流脚本家・少女小説作家 水島あやめ」

5/28(金) 開催

要事前申し込み 先着順



活動写真弁士 佐々木 亜希子氏

山形県出身。NHK山形放送局でキャスターを務めた後、2001年より活動弁士として活躍。著書『カツペンっておもしろい!現代に生きるエンターテインメント「活弁」』(論創社)



ピアニスト 永田 雅代氏

多種多様なジャンルのCD制作、プロデュース多数。無声映画の伴奏をシリーズ化して公演を行う。多くの無声映画作品の音楽を手がける。



講師 因幡 純雄氏

上越市出身。会社勤務の傍ら水島あやめの調査研究を始め、顕彰活動を行う。著書『日本初の女流脚本家・少女小説作家 水島あやめの生涯』(銀の鈴社)

日時：2021年5月28日(金) 午後2時～3時30分(予定)
会場：新潟日報メディアシップ2階 日報ホール
定員：120名(先着順、要事前申し込み、定員に達し次第締め切ります)
参加費：1000円(会期中有効の観覧券付き) ※パスポート会員は500円

お申し込み方法(往復はがきまたは直接受付)：

- ◆往復はがきにイベント名と「①氏名・読みがな、②郵便番号・住所、③電話番号」をご記入の上、当館までお送りください。
- ◆当館の受付でも直接お申し込みできます。

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ5階

関連イベント その2

担当学芸員による解説会(約30分)
4/17(土)、5/15(土)、6/19(土)
各日14:00～14:30(予定) ※申込不要(要当日観覧券)

次回の企画展示
生誕130年 松岡謙(仮称)
7/27(火)～11/3(水・祝)

【ご来館のみなさまへのお願い】

- ・展示室内ではマスクの着用をお願いします。
- ・ご入館前の手指消毒や手洗いに協力ください。
- ・発熱や風邪の症状がある方は、来館をお控えください。
- ・展示室内では互いに適切な距離を保ってください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催内容に変更が生じる場合があります。最新の情報は当館のウェブサイトやFacebookなどでご確認ください。

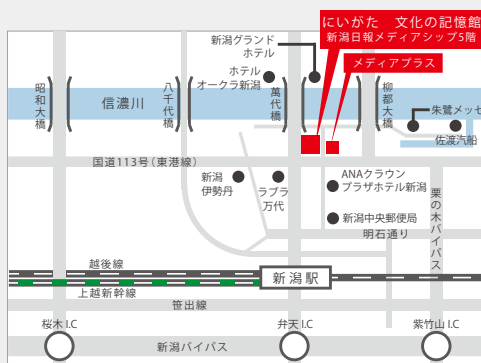
●交通のご案内

新潟駅から タクシー 約5分 / 徒歩 約15分
新潟空港から タクシー 約15分

●メディアシップ第1・第2駐車場(24時間営業)のご案内

第1駐車場 [メディアシップに隣接]：約60台
料金 220円 / 30分(夜間最大1,000円)
第2駐車場 [メディアプラスに隣接]：約90台
昼間料金 200円 / 30分(昼間最大700円)
夜間料金 200円 / 60分(夜間最大300円)

【メディアシップ第1・第2駐車場限定サービス券発行について】
入館料以外に1,000円(税込)以上のお会計で1時間サービス券、3,000円(税込)以上のお会計で2時間サービス券を発行します。



にいがた文化の記憶館

☎ 025-250-7171

http://nmmc.jp/

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報メディアシップ5階
開館時間：10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日：月曜(祝休日の場合は翌日)
【エレベーターの運転時間について】
開館時間以外にはメディアシップのエレベーターは5階に止まりません。
ご来館の際はご注意ください。

割引券
一般、学生、高齢者、各団体
※本館に2名以上で来館する場合は割引券の併用不可
(切取不可)